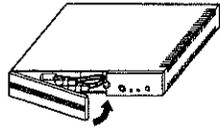
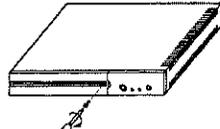


(5) 前面パネルを取り付ける。



・前面パネルの左側を本体ケースに固定し、取り付けます。



・ネジをドライバで締め、前面パネルを固定します。

**運転状態のまま交換した後**

- 「ブザー停止/テスト」スイッチを押し、自己診断テストをスタートしてください。約10秒のテスト後、正常動作に戻ります。「バッテリー交換」アラームが停止します。

**運転を停止して交換した後**

- 「AC100V入力」プラグを電源に差し込みます。
- バックアップ電源の電源スイッチをONする。正常に起動し、「電源出力」ランプが点灯することを確認します。

- 以上でバッテリー交換作業終了です。

**交換用バッテリーパック BP50XF取扱説明書**

本製品は、BX35XF/BX50XF専用の交換用バッテリーパックです。

安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。  
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

**安全上のご注意**

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。



**注意**

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。



※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。  
：禁止(してはいけないこと)を示します。例えば ④ は分解禁止を意味しています。



：強制(必ずしなければならないこと)を示します。例えば ① はアースの接続が必要であることを意味します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

**⚠ 注意 (バッテリー交換時)**

交換作業は、安定した平らな場所で行うこと。

- 落下によるけが、液洩れ(酸)によるやけどなどの危険があります。
- バッテリーは落下しないよう両手でしっかりと保持してください。



指定した以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品型式:BP50XF BX35XF, BX50XF専用バッテリー



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体(希硫酸)に触らないこと。

- やけどや、目に入ると失明の恐れがあります。
- 目や皮膚に付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、失明、やけどなどの恐れがあります。



液漏れしているときは交換したバッテリーをさかさまにしないこと。  
さかさまにした状態で運搬しないこと。

- バッテリーから液漏れがある場合、液体(希硫酸)がこぼれ、やけどや失明をする恐れがあります。



**注意 (バッテリー交換時)**

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

- バッテリーに接続コネクタに金属物を挿入しないこと。感電、発火、火傷の恐れがあります。
- 火傷をしたり、火災を起こすことがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



**お願い**

不要バッテリーは不燃物として処理しないこと。

鉛バッテリーはリサイクル資源です。

- 交換後の不要バッテリーの処分については、弊社メンテナンスサポートにご連絡ください。

バッテリーの保管 (使用していない状態) 可能期間は、完全充電状態から約6ヶ月です。

- バッテリーは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となりバックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
  - バッテリー単品の場合ご購入後6ヶ月以内にご使用を開始してください。
- バックアップ電源と保管される場合は、保管前に8時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にして下さい。保管期間が6ヶ月を超える場合、超える前にバックアップ電源を8時間以上商用コンセントに接続し、バッテリーの再充電を行ってください。
- 以後6ヶ月毎に再充電を行ってください。

交換後の不要バッテリーは速やかに処分してください。

- 長期間放置しているとバッテリーから希硫酸が漏れる可能性があります。
- バッテリー処分については当社メンテナンスサポート(TEL:0559-77-9039)までご相談ください。

**バッテリーの交換**

- 運転中(電源出力中)の状態でもバッテリー交換できます。
- 運転停止(電源出力停止)状態でも交換できます。お客様のご都合のよい方法で交換を行ってください。

※ 運転状態でバッテリー交換を行う場合、バッテリーが接続されていない状態で停電など入力電源に異常が発生した場合、バックアップ運転をせずに停止します。

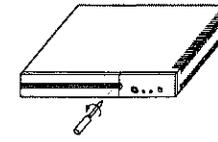
運転状態のまま交換する。

運転を停止して交換する。

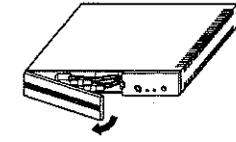
- まず、接続機器を停止します。
- バックアップ電源の電源スイッチを「切」します。
- 「AC100V入力」プラグを電源コンセントから抜きます。

- CRTなど重量物が乗せてあるときは交換作業が終わるまでおろしておいてください。

(1) 前面パネル Aける。

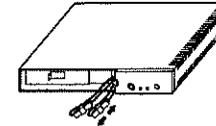


ネジ(1個)をドライバで外す。

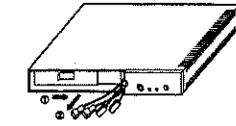


前面パネルを取り外す。

(2) バッテリーの接続コネクタを外し、金属カバーを取り外す。



白と黒のコネクタを引き抜く。  
(コネクタ側面のレバーを押しながら強く引き抜く。)



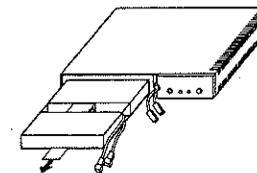
① 前面の金属カバーを右へスライドし、  
② 手前に取り外す。

(3) バッテリーを取り出し、新しいバッテリーを入れる。

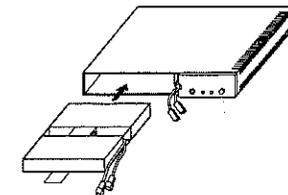
▲ 交換用バッテリーは必ずBP50XFを使用のこと。

▲ 取り出したバッテリーが液漏れしているときは

- バッテリーを取り出したままの方向で逆さまにしないでください。(トレイに液が溜まっているとこぼれます。)
- 液体(希硫酸)に触らないでください。
- 交換用バッテリーの包装ビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してから取扱ってください。



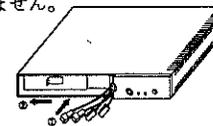
・白いラベルを持ってバッテリーを引き出し、  
バッテリー本体を保持して取り出します。  
▲ 落下しないようご注意ください。



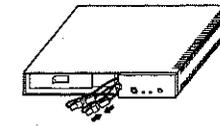
・新しいバッテリーを挿入する。

(4) 金属カバーをはめ込み、コネクタを接続する。

- 運転停止して交換する場合、コネクタ接続時に「パチッ」と音がすることがありますが異常ではありません。



・金属カバーを切り欠き部を合わせてはめ込み、  
左へスライドして固定する。  
(バッテリーがケース内に固定されます。)



・白と黒のコネクタをそれぞれ接続します。  
(接続後、引っ張って抜けないことを確認してください。)